

令和6年度 神戸市立星和台小学校 学校評価報告書

校園長名 入江 豊彦

記入者名 白倉 聡子

神戸の教育が目指す人間像	教育ビジョン	神戸が目指す これからの学校の姿
心豊かに たくましく生きる人間	学び合い 高め合い	人がつながり ともに創る みんなの学校

り学 の校 目づ 標く	なかまとともに伸びる子（ほん気・しんの強い子・のびのび活動する子・こころ豊かな子）
----------------------	---

内容	重点的な取組み	評点 (4段階)	特記事項 (学校自己評価)	関係者評価 (学校自己評価に対する学校運営協議会の意見等)	学校自己評価、関係者評価を踏まえた 次年度の重点的な取組みの案
育 て た い 子 供 の 姿	ほ 本気で学ぶ子	3	どのような児童の姿を目指すのか、教育目標、道徳重点目標、人権教育目標等を柱において、教育活動全体を通しての取組を継続していく。	・一斉授業では、なかなか理解が難しい児童がいるのではないかな。好きなことに集中する姿は良い。	・GIGA端末の効果的な活用（連絡・自分学習） ・学校保健委員会などで「姿勢」をテーマに取り上げて活動する。R7年度仙台で発表する。
	し 芯の強い子	3	・玄関ロビー、各教室にも掲示し、児童自身が目にすることで、意識できるようにしていく。	・家庭でも学校でも、なかなか粘り強く取り組ませたり、失敗をさせたりする機会が減っているのではないかな。	・登下校のあいさつや表彰等の返事を大切にし、児童に継続的に言葉かけしていく。
	の のびのび活動する子	3	・行事を通してどんな力をつけたいかを明確にし、チャレンジできる機会を多く設けていくことは大切である。	・星和台小学校の子どもたちはのびのびと素直に育っていると感じる。 ・地域であつても子供達は進んで挨拶してくれる。	・授業参観を年3回と行事やイベントなどで、1カ月に一度は足を運んでもらう取組をし、のびのび活動している様子を見てもらえるようにしていく。
	こ 心ゆたかな子	4	・異学年交流としての星の子活動を年間を地通じて継続していくことで、学年を超えたつながりや他者を思いやる気持ちをもつことができた。	・より多くの経験、体験を積んで心を耕してほしい。 ・授業を通してお互いを思いやる心が育ってきている。	・低学年に優しい高学年の姿がある。幼小や小中連携等、つながりを増やしていき、地域で活躍できる児童育成に努めたい。
必 須 テ ー マ	①いじめ防止対策に関する取組み	4	特支生指部会を月1以上行い、いじめ対策委員会も適切に行い、チームとして連携し動くことができた。	・SNS等のトラブルも増えてきているのか。子供のトラブルが見えにくくなっていく傾向にあるのが心配。 ・地域での子供同士の関係やトラブル等注視していく。	・学校評議員会で、いじめにおける学校状況を適切に伝え、地域学校と問題を共有し、児童の心の育成を推し進めていく。
	②不登校支援の取組み	3	校内支援員との情報共有や、くすのき教室とも連絡を密にし、児童の居場所づくりを今後も継続していく。	・校内サポートルームの設置を学校だよりでお知らせ。不登校問題は社会問題となっているので、学校でできる策を講じていく必要がある。	・今後も校内サポートルームを今後も有効活用し、クラスに入れない児童や困り感のある児童が、安心して過ごせる居場所を大切にしていく。
	③教職員の働き方改革	3	チーム担任制を視野に、教科担任制を積極的に導入し、教材研究を焦点化したり、児童の登下校見守りを地域の方を中心に行ってもらうなど、働き方を見つめ直してきた。	・1クラスの人数を減らしたい。先生方が児童を丁寧に見取れる限界がある。学びにくさを抱える子供も増加。個別最適な学びを保証するためにも、「人」は必要。	登下校の見守りや、放課後の学習支援など、地域の力をかりながら児童の健全な育成を目指す。
	④保護者・地域への情報提供・発信（すぐる活用、ホームページ等）	4	学校の情報発信にも活用する。チラシ配布の業務改善に活用する。	・学校だより（予定・お知らせ・各学年の学習予定）に一本化。紙媒体でもらえるありがたい資料もある。精選を。 ・保護者アンケート等、できる限り広く情報を開示し、共通認識していく質要は今後もある。	・運用規定の内容を確認しながら、アンケート機能の活用も含めて充実させる。

【評点】 4：十分達成できた 3：おおむね達成できた 2：どちらかと言えば課題がある 1：課題がある